

番号	タイトル	内 容	所要時間
2		<p style="text-align: center;">みんなでかんがえよう！ Vol.0 ひかるのいえ（アニメ）</p> <p>キッズアニメーション。母親と父親が同じように働く姿を見て考える「ひかるのいえ」がお話の舞台になっています。これは、さまざまな家族のひとつをクローズアップしたにすぎませんが、社会には、さまざまな人や家族が存在します。誰もが性別役割にしばられないで自分らしく生きられること、男女共同参画社会の実現に向けて考える、きっかけに。（2002年制作／CD-ROM）</p>	-
21		<p style="text-align: center;">いわたくんちのおばあちゃん ~ぼく、戦争せんけえね~</p> <p>このアニメの主人公、寛太は現代の小学生です。寛太は、友達のおばあちゃん（ちづこさん）の話を聞くうちに、原爆のことや戦争のことを自分の問題としてとらえ、平和への決意をしていきます。この作品は、昭和20年8月の広島で起こった実際のお話をもとになっています。戦争は、人の命を奪う最悪の人権侵害ともいえます。この作品を視聴した後は、平和や命の大切さを、学校で、地域で、家庭で話し合っていたいただきたいと思います。（2009年制作）</p>	20分

番号	タイトル	内 容	所要時間
32	 <p>昭和20年。広島市の町に原子爆弾が落とされ、約14万人の人が死に、町は跡形もなく焼け野原となりました。それから数年後の広島市の町に「おこりじぞう」と呼ばれる。首と胴体がつながっていないお地蔵さんが立っていました。この首は一体どうしたのでしょうか？そして、なぜ怒った顔をしているのでしょうか？</p> <p>この映画は、山口勇子さんが書いたお話をもとに人形アニメーションにしたものです。（制作年度不明）</p>	<p>おこりじぞう</p> <p>昭和20年。広島市の町に原子爆弾が落とされ、約14万人の人が死に、町は跡形もなく焼け野原となりました。それから数年後の広島市の町に「おこりじぞう」と呼ばれる。首と胴体がつながっていないお地蔵さんが立っていました。この首は一体どうしたのでしょうか？そして、なぜ怒った顔をしているのでしょうか？</p> <p>この映画は、山口勇子さんが書いたお話をもとに人形アニメーションにしたものです。（制作年度不明）</p>	28分
53	 <p>昭和20年7月10日は、大阪・堺市民にとって二度と忘れることのできない日となりました。戦争中の日本は、この年アメリカ軍の空爆によって、何百万人もの人たちが日本中で、殺され傷つけられ出されました。堺市ではこの日、2830人もの人たちが殺され傷つきました。私たちは、この悲しい過去を忘れてはいけません。この話は、当時6歳だった浜野絹子さんの体験をもとに、平和人形アニメーションにしたものです。</p>	<p>おかあちゃんごめんね</p> <p>昭和20年7月10日は、大阪・堺市民にとって二度と忘れることのできない日となりました。戦争中の日本は、この年アメリカ軍の空爆によって、何百万人もの人たちが日本中で、殺され傷つけられ出されました。堺市ではこの日、2830人もの人たちが殺され傷つきました。私たちは、この悲しい過去を忘れてはいけません。この話は、当時6歳だった浜野絹子さんの体験をもとに、平和人形アニメーションにしたものです。</p>	26分

番号	タイトル	内容	所要時間
58	 <p>ながさきの子うま</p>	<p>ながさきの子うま</p> <p>昭和20年8月9日長崎に原子爆弾が落とされました。犠牲になったのは人間ばかりでなく動物達も犠牲になりました。その中におかあさん馬と幼い馬もいました。子馬を主人公に平和と生命の尊さを伝える子供達から大人までに送る作品です。</p>	27分
66	 <p>ちいちゃんのかげおくり</p> <p>あまん きみこ</p>	<p>ちいちゃんのかげおくり</p> <p>お父さんが出征する前の日、ちいちゃんは「かげおくり」というあそびを覚えてもらいました。夏のはじめの夜、空襲でちいちゃんは母と兄とはぐれました。目ざめたちいちゃんに父の声が空から降ってきました。（1991年制作）</p>	17分

番号	タイトル	内 容	所要時間
67		<p>消えさらぬ傷あと 火の海・大阪</p> <p>昭和20年大阪に住んでいた多くの人々が無差別の空襲によって、尊い命を失いました。これが大阪の空襲です。二度とこのような不幸な戦争を繰り返さないよう、平和の尊さを訴えるアニメーション。</p>	20分
75		<p>ねずみくんのきもち</p> <p>いじめやコンプレックス、自然とのつながりなどの大切なテーマをねずみくんと一緒に学べる楽しいアニメーションです。相手のことを大切に思う心、思いやりが大切なこと、みんな助け合って生きているということ、みんな違うからいいんだということ、一人ひとりが大切な存在であるということに気づき、共に生きていることを感じられることを願って制作しました。(2008年制作)</p>	12分

番号	タイトル	内容	所要時間
100	 <p>トビウオのぼうやはびょうきです</p>	<p>トビウオのぼうやはびょうきです</p> <p>1954年3月1日、太平洋の中のピキニ島でアメリカが水素爆弾の実験をしました。この爆発で人間が病気になったり死んでしまう、おそろしい灰がたくさんばらまかれました。被害にあったのは人間だけではありませんでした。海の底はめちゃめちゃに壊され、たくさんのお魚たちも同じように海の病気になって寝たきりになったり死んでしまいました。この作品はいぬいとみこさんの童話を原作にアニメ映画にしたものです。</p>	19分
112	 <p>うみとりくのからだのはなし</p> <p>原作『うみとりくのからだのはなし』 作・遠見才希子/絵・佐々木一澄 出版社・株式会社童心社</p>	<p>うみとりくのからだのはなし</p> <p>ふたごのうみとりくは、そっくりだけど、ぜんぜんちがう。りくはおかあさんになでられるのが好きだけど、うみはなでられるのが苦手。そんな2人と一緒に、みんながそれぞれのからだを大切にするためには、どうしたらよいかを考えるアニメーション教材です。大事なことだけれど、なかなか話し合うのが難しいからだの話を、やさしいシンプルなことばで考え、性犯罪から身を守ることや相手の体を尊重する態度を身につけます。(2023年制作)</p>	16分